

CGU 中京学院大学 季刊情報誌「更紗」 SARASA

発行/中京学院大学
岐阜県中津川市千且林1-104
TEL:0573-66-3121
FAX:0573-66-7722
<http://www.chuikyogakuin-u.ac.jp/>

2006 SPRING

第5号



中津川市の花、中京学院大学の花として愛される「サラサドウダン」。「SARASA」も地域に愛読される雑誌を目指します。

CONTENTS

温泉リゾートで、 ホテルワーキング 体験講座

12



中津川温泉 ホテル花更紗で
ホテルマン・ホテルウーマンに初挑戦!!

CGU JOB INTERVIEW

- 3 ホテルウーマンとして歩み始めた
中京学院大卒業生にインタビュー

CGU MESSAGE

- 4 ソフトボールで培った精神力で、
夢にチャレンジ

CGU TALK

- 5 太田教授にインタビュー。
継続は力なり!

CGU INFORMATION

- 6 社会のために、人類のために、未来のために
安達賞受賞者決定
今年もいよいよ開講! 高大連携教育講座

- 7 中津川駅前をより賑やかに。
ショップオーナーインタビュー

ホテル花更紗で ホテルマン・

HOTELMAN&HOTELWOMAN

ホテルウーマン 体験講座

華やかなイメージのホテル業界。そこに働くホテルマン、ホテルウーマンは、あこがれの職業のひとつです。そこで今回は、中津川温泉 ホテル花更紗でホテルマン・ホテルウーマン体験をしました。ホテル花更紗のスタッフは、どの部署もすべてエキスパート。中西君、林さんにも体験してもらいました。

今日の先生

飯森 基さん



(株)クアリソート連中 企画営業課長
さわやかな笑顔が素敵なホテルマンです。

チャレンジする人

中西健太さん



出身地/福井県
中京学院大学経営学部経営学科2年

チャレンジする人

林 秀娟さん



出身地/中国福建省
中京学院大学経営学部経営学科2年



入り口でのお出迎え

ここが POINT!

【手順】指先がつかないように、手首でドアを押さえる。

背筋を伸ばして、
にこやかに
しましょう。

基本姿勢

ここが POINT!

【字】右手は拳を握り、左手で拳を握るようにそっと添える。



立っているだけで存在感が伝わるホテルマン・ホテルウーマン。中西君、林さんらと楽しくてにこにこしているようですね。

基本姿勢

ここが POINT!

【足】つま先は45度に開く。

基礎編

これがホテルマン・ホテルウーマンの基本姿勢

ホテルの印象は15秒で決まるといわれます。お客様に好印象を持っていただくように、まずはホテルマン・ホテルウーマンとしての基礎をしっかりとマスター。



お辞儀

ここが POINT!

【視線】少し前を見る。





今日は
お昼の宴会の
お客様もいるので
大忙し。

お風呂

🎵 **ここが POINT!**

排水溝のふたも外して
裏まで磨きます。

トイレ

🎵 **ここが POINT!**

タオルで丁寧に拭きあげ
ピカピカにします。



お
そ



う
じ
編

きれいな、清潔は、
思いやりの気持ち

きれいな、清潔。それはホテルの第一条件です。
そうじの基本は手早くきれいに。
目につかないところまで毎日そうじをしています。



掃除機

🎵 **ここが POINT!**

掃除機は畳の目には
つっかけます。

接客編

さわやかな笑顔が
重要ポイント!

接客の基本は心づくし。スマートな身のこなしと
常駐のない動作は、お客様のじゃまにならないため。
心のごもった接客で、リピーター客が多いホテルです。

かっこいいなあ
と思われる
姿勢が大切よ



接客

🎵 **ここが POINT!**

お客様の前ではいつも
笑顔で。



中西路にコーヒーも。

身だしなみ

🎵 **ここが POINT!**

特に髪元は重要。



ホテル花更紗で働くOG 蓮本さんにインタビュー

蓮本史穂さん
中京学院卒業生



中西健太さん
経営学部経済学科2年
出身地/福井県

林 秀娟さん
経営学部経済学科2年
出身地/中国福建省

この春、ホテル花更紗に入社した蓮本史穂さんは、中京学院大学の卒業生。
ホテルウーマンとして歩み始めたばかりの蓮本先輩にインタビューをしました。

中西 僕は2年生なので、就職はまだ先のように思っているのですが、蓮本さんは何年生から就職のことを考えはじめたんですか？

3年生です。学校で就職ガイダンスが開かれ、友達との会話も就職の話題が多くなりました。3年生の初め頃から活動を始める人もいましたが、私が本格的に活動を始めたのは、4年生になってからです。

蓮本



林 最初からホテル業界にしようと思っていたんですか？

決めていませんでしたが、人と接する仕事をしたいと思っていました。

蓮本



中西 就職してから気をつけていることは？

笑顔をやさず、言葉遣いも気をつけています。最近よく言われる「こちらのほうから」という言い方はNG。仕事中はもちろん、普段でも言葉には注意を払っています。

蓮本

林 就職してから変わったことは？

3月からアルバイトで働かせていただいて、4月から社員になりました。社員になってからは、責任の感じ方が全く違い、やりがいを感じます。1日があっという間に終わってしまいます。

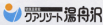
蓮本

中西・林 今日はありがとうございました。これからもがんばってください。

はい、ありがとうございます。

蓮本

インタビューを終えて…「中京学院大学の後輩が会いにきてくれるのは、本当に嬉しいです。社会人として、中京学院大のOGとしてがんばります！」



雄大な自然と山の幸、そして天然温泉が楽しめる「ホテル花更紗」。

お肌がつるつるになる「美人の湯」と和風の落ち着いた雰囲気が魅力です。

ご宿泊当日と翌日の2日間は、騎乗のタラシ遊園「タラシリゾート温泉沢」も無料でご利用OK。



ホテル花更紗のお土産おみやげ

夏ゆめ湯 1000円 1000円
中央の御湯石 豪華な床で楽しむ、ホテル花更紗オリジナル風呂です。

花更紗 1人1人 4000円
タラシリゾートワンタラシタラシリゾートギフト券です。



住所：福井県南丹波郡美穂町200 電話：0757-69-5555 http://www.hanasuzuna.jp/ 予約受付：40歳 予約人数：10人 チャットライン：10:00～ チャットアウト：10:00

夢にチャレンジ!

第3回
可能性を
信じて

今回登場していただいたのは、中京学院大学のソフトボール部に入学したくて本学に進学した二人です。一人は就職をひかえた4年生。もう一人は、これからますます期待がかかる2年生。スポーツが大好きな、さわやかな学生さんです。



良い環境で、ソフトボールがしたい。それが志望動機でした。ソフトボールが大好きで、中学生の頃からソフトボールをやっていた近野さん。中京学院大学に進学を決めたのは学生の時でした。ソフトボールを通じて、本学のソフトボール部の記事を読み、大学生になったから中京学院大学でソフトボールがやりたいと思いました。高校2年生の夏に計画を練る準備をする。半年はソフトボール禁止と言われましたが、キボスを外した瞬間あまりにも明るくなっていて、これは絶対するしかないと思い、手廻し1ヶ月でキャッチボールを始めました。ソフトボールを始めたんです。ソフトボールを通していろいろなことを学ぶことができました。スポーツをやっているとたくさんあります。東海大会の総リードから

良い環境で、ソフトボールがしたい。それが志望動機でした。

ソフトボールで培ってきた強い精神力で、社会に出てもがんばります。

MESSAGE

自身のプログラミング技術を高めるために、Java Scriptを勉強中。

近内 庸江

中京学院大学経営学部経営学科4年生
新橋校出身 元学生立役者兼高校生

卒業後は出身地に戻って地域のために働きたい。4年生になり、就職活動で忙しい毎日を送っています。卒業後は地元に戻り、地域に貢献できる仕事に就きたいと考えています。町づくりの一環を担う川合海や、建築会社、地域の活性化につながるアニメーションパークなど地元で活躍したい企業で、多くの人と触れ合い、地域のために働きたいと思えます。将来の夢をしっかりと見据えながら、こんなことにも目標を持って生きていきたい」と語る近内さん。大きく精神的な成長の裏に、強く揺るぎない意志を感じます。



1部リーグへ入り抜いた時の試合では、チームがひとつになるってこういうことなんだと実感しました。今でもあの苦闘と達成は忘れられないです。

やるからにはレギュラー。上を目指しています。中京学院大学には、ソフトボールがやたくて入学しました。将来は実業団のソフトボールチームに入り、世界で活躍したいです。所属の実業団は、男子ソフトボール部のエースピッチャーです。坂本君とソフトボールの出会いが小学生のとき、そこからにはいつもレギュラーでがんばっています。また、現在は、12月代表選手チームの選抜選手、兼務副代表選手としても活躍しています。ソフトボールの魅力はスピード感と瞬間の早さです。男子ソフトボールの試合を実際に見ると、ボールの早さと威力にきつと驚きます。」



目指すは実業団、そして世界へ。ソフトボールに打ち込む毎日です。

MESSAGE

昨年は、12月代表選手としてカナダ遠征にも参加しました。

坂本 俊行

中京学院大学経営学部経営学科4年生
新橋校出身 元学生立役者兼高校生



目標は10月のアジア選手権。昨年はソフトボールの本場カナダやニュージーランドで行われた大会にも出場、大学生になってからの1年間で、どれくらい成長したかを確認するチャンスだと思いましたが、世界レベルのチームと戦い、力の差を痛感しました。国内では経験できなかったことがあり、勉強になりました。帰国後は遠征での練習とをバネに、今までは以上に集中して練習に行打ち込むようになりました。試合中、思い込まれると悔しいですが、精神面をもっと鍛えて、苦しい時ほど笑っていられる選手になりたいです。今の目標は、10月に帰国後で行われるアジア大会の日本代表選手に選ばれることです。昨年は選手に選ばれずも上がったので、負けはけません。12月の半でも強打りの選手だといわれるように、がんばります。19歳のさわやかな笑顔で話してくれました。

太田 宏教授

岡山大学・情報処理解説 A・B 情報処理解説 (3)・C アーサー・ベネッセ教育リ
サーチ・メディア・アズ プレゼン 専門講師 (1)・1 卒業研究

太田先生のHP <http://www2.chukyo-gakuin-u.ac.jp/~ohata/>



Persistence pays off. So don't give up. Just keep trying.

継続 は力なり!

31年間(昭和44年1969年から平成12年(2000年)まで)コンピュータ会社に勤めてきました。事業部に所属しながら、中央研究所で汎用画像処理に関する論文を作成したり、学会発表などをを行い、本大学にやってきました。会社では大きくくらのセクションに分かれて仕事をしました。最初の15年はコンピュータの開発、あとの16年は医療機器の開発をしました。医療機器では特にがん治療の関係に携わり、それこそ日本全国の病院をまわりました。ここでは先生方の学会発表用データ測定や臨床計測プログラムの改良など、個別対応も多く、標準化についての提案を日本医学放射線学会などに行ったりしました。このように会社の開発

太田 宏教授の オススメ中津川

黒直におもわれることでもまじめに続けて行こう! 何か発見があるはず。
何かに打ち込んで続けていこう! 興味をもったことなら苦痛はない!

といつても、市役所から病院まで、現場を回る機会が多く、常に携わっている人との接点のなかで、機器やプログラムの開発はどうかあるべきかを考えることができた。コンピュータにいましななどは幸いして、安達学園が目指す「実学の教え」に当たって教育できるのはこうした経験からで、会社生活を非常にありがたく思っています。色んなテクノロジーは、最終的に医療の現場で役立つことがなければ、意味ではないと考えられます。コンピュータももつと速く、小さくならなければならない。新薬の開発には分子コンピュータなどが生まれ、かぎり何十年とかかるという事実があります。携帯電話に同じくいえば、そこから発する電磁波から、医療の現場でも使用できませんので、また開発の余地があると思っています。家庭や医療現場で発生するあらゆる生体信号(心電図や脈拍、尿酸値など)や、医療分野で発生する画像(X線画像、CT画像やMRI画像、顕微鏡)などのデータをまとめてファイルし、伝送し、解析し、診断を下すという作業が今、医療の分野でようやく実用化されています。画像診断といった分野ですが、こういう分野にも携わることができました。いかにデータを効率よくデータベースに構築できないかを新しい研究テーマとして勉強しています。また、医療の経験を「実学ゼミ」「実践のゼミ」としてゼミ運営にも取り入れています。

さて、勉強や教育以外に、継続は力なりを、実践しているものとして、山形マラソンを季節を除いて毎年、オーケストラ活動(毎年)、ピアノ練習(毎日)、ブログ執筆(毎日)、スウェッチ(毎日)、ジョギング(毎日)などをしており、すべて1時間か足りません。……という生活を送っています。

太田教授のオススメスポット

昭和50年代末ではローソクを持って入ったという温泉で世界有数のラジウム温泉です。大学から30分ほどで行けますので、よく訪れます。万病が治るということで、全国から湯治に訪れる客でいつも賑わっています。また庭や、山里の風景も美しく、四季折々の散策が楽しめます。

- 注 文 中津川温泉山荘
- T.C.L 0573-72-5047
- 電 話 930-1500
- 水曜日 18-21時(お風呂は休)



ローソク温泉
湯の島ラジウム温泉

ACCESS MAP



第二回「安達賞」最終選考会・授与式



写真提供：安達賞実行委員会

人間が人間として人間らしく、活き活きと生きていくうえで最も大切なものは、愛、真心、思いやり、優しき、純粋、純真、道徳、倫理……であり、これらを言葉だけで終わらせず、実践し実行し実体化させるべく安達学園総合研究所で「安達賞」が創設されました。講者の為、社会の為、日本の為に、そして未来の為に、真心を尽くす……その志（こころざし）の純粋を見つづけ、その純粋が芽となり、花を咲かせる姿、情熱をもつて見守り、厳正に育みたいとの思いで、昨年12月より今年2月末まで公募を致しました。

募集開始より数多くの志（こころざし）が寄せられ、5月10日に名古屋国際センター

社会のために、人類のために、未来のために

本ールにて最終選考会へ進んだ3名の志士に人がアレナレーションを行ない、梶原拓氏（前岐阜県知事・伊達公子氏（元アロテニクスレギュラー）・野場子氏（前野田製薬社論議委員長）・樋口公治氏（前経団連副会長）・吉田保之氏（元出光興産株式会社副社長）による激励を伴い白熱した選考の結果、第二回「安達賞」を受賞したのは、フイリシシ在任の25歳の研修医、池田良子女士でした。彼女は「貧困に苦しむ人々への医療活動」を目標とし、WJWJで働くため、さらに医療水準の高い国での留学に向けて日夜「読書仲間」とおり、「真心という源泉を持つ「善き事を行なう」という本賞の基本判断基準から選ばれました。彼女には、正賞として陶芸家・鈴木俊氏作の緑釉長方形、副賞として賞状、副賞として1,000万円が贈られました。

また、最終選考まで残った、畑中博嗣さん（元WJWJシニアコーチ）・横手マサヒさん、磯井良子さん（フリーアムバイターの）のこころざしも選考委員より高く評価され、「読書賞」（安達学園創立者 安達善雄の偉号「読書」より）が授与されました。

今後は応募して下さった皆様の名（こころざし）にちなみ、皆様の代表として受賞された3名を協力にサポートし、参ります。

第2回「安達賞」のテーマ等は今年10月に発表をさせていただきますのでおまち。

詳しくは安達学園総合研究所ホームページ <http://www.adachi-csoken.jp/>をご覧くださいませ。

中京学院大学と中津川・恵那地区の高校との連携授業がスタート 高大連携教育講座開講式

5月10日、「高大連携教育講座」の開講式が、中津川市にきわいプラザ（安達学園本部）にて行われました。今年度は「英会話特講」「中国語特講」「世界経済と中津川の歴史」の3講座を開講。中津高校、恵那高校など、中津川市・恵那市の高校に通う向学心あふれる生徒が集まり、開講式に続いて行われた講義に出席しました。

今年度で3回目を教えるこの講座は、今年間に23回程度の授業を行い、修了



者は高校の単位として認められるという、全国的にも数少ない画期的な講座です。受講生代表として挨拶した高田佳織さん（中津高3年）は、「受験勉強とは違う、生きた英会話を学びたい」と抱負を語りました。

